

「環境」という言葉を聞くと、遊具だったり、教材だったりというイメージで考える方も多いかと思いますが、もちろんこれらも「環境」の一つですが、モンテッソーリ教育では「環境」を細かく5つの事柄として考えています。今回は今までお伝えしてきた子どもを取り巻く「環境」についてもっと詳しくお伝えしたいと思います。

この5つの「環境」とは・・・

- ① 子どもサイズの生活道具や魅力的な教材（教具）
- ② 豊かな自然
- ③ 異年齢混合の子ども社会
- ④ 子どもの力を信頼し、自らが学ぶ手助けをする教師
- ⑤ 自分で活動を選び、やり遂げる十分な時間

と考えられています。

① 子どもサイズの生活道具や魅力的な教材（教具） ～生活道具について～

家庭の中を思い出すと、台所にしても、洗面所にしても大人サイズで、大人の価値や判断のもと生活がしやすい環境になっていますよね？園はこの「大人の家」ではなく子どもが生活していくため（子どものため）の環境を第一に考えています。これまでも子どもが自立できるような援助を大切にしていることをお伝えしてきましたが、まさに子どもが主体的に自分の力で生活していくことが自立へとつながります。

*朝の準備



ゴミ箱づくり



ティッシュ折り

生活に必要なものを準備します。自分たちで行うので、物の場所や使い方を知ることができます。

*室内掃除



給食の後や、ゴミが落ちているのに気付いた時にホウキできれいにします。

*雑巾



2歳児クラスの雑巾



3クラスの雑巾

赤⇒机拭き
青⇒床拭き

*足洗い



未満児の足洗い



3クラスの足洗い場

赤いかご⇒きれいな雑巾
青いかご⇒使った雑巾

食後やお茶などがこぼれた時など、大人が始末をするのではなく、自分で机や床をきれいにします。小さい頃から少しずつ身に付けていきます。

足が汚れたらいつでも洗えるようにしています。洗ってから拭くまでの子どもの動線も考えて道具を配置しています

このように、園生活を子ども自身が主役となって考えながら行っていけるように、環境を整えています。